

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター					
(2) 施設概要	①所在地 さいたま市南区別所7丁目20番1号 ②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設 ③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1・2(定員45名)、 第1～第10集会室(定員12名～42名)、音楽室1～5(定員5名～18名)					
(3) 指定管理者	オーエンス・アイルグループ					
(4) 指定期間、指定管理料	①指定期間 平成3年4月1日～令和8年3月31日 ②指定管理料(直近3ヶ年) 令和5年度 320,000千円、令和6年度 320,500千円、令和7年度 340,260千円					
(5) 施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 154,281人(前年度149,458人) ・利用件数 15,646件(前年度15,569件) ・稼働率 98.2%(前年度97.9%) ◇業務実施状況 ▶主催事業業務 小・中学生のダンス交流を目的とした新規事業「武蔵浦和キッズダンスフェス」(R7.5.25)、埼玉県立三郷工業技術高等学校、埼玉大学鐵道研究会、JR武蔵浦和駅の協力を頂いて開催した「親子で一緒に鉄道で遊ぼう!」(R7.8.23・24)、海外(スロベニア)からサクソ奏者を迎えた「サウスピアLIVE JAZZコンサート」(R7.7.26)、その他、古典文学講座「土佐日記」、「駅前寄席」、「武蔵浦和シネマ」等、今年度は38事業92回の主催事業を展開し、市民からは、評価の高いご意見・ご感想を多くいただいた。 ▶管理業務 施設の利用状況を示す数値で、利用者数・利用件数・利用率については、平成29・30年当時の最盛期には及ばなかったが、令和2年頃からのコロナの影響は完全に脱し、例年、前年を超える結果を残せた。宣伝手法も新しいものを取り入れ集客に努めた結果、新規顧客の獲得が円滑に行えた。今後、SNSを一層活用し、多面的な情報発信を実施する。 ②維持管理業務の状況 ▶保守点検業務の実施 施設を良好な状況に維持するため、年間計画に基づいた50項目に及ぶ保守点検業務の実施及び設備機器の修繕を行った。隔月、開催している安全衛生管理委員会においては、課題解決に向けた協議を行い、利用者への快適な環境を提供するため突発的な故障を含めた修繕への取組みを実施した。 ▶警備・清掃業務の実施 人的警備・機械警備の防犯体制業務を堅実に実践した。地道な保安業務を実施することにより、今年度は大きな事故・トラブルもなく円滑な運営を行うことが出来た。 ③その他の業務 2019年から活動を開始している、館内から出るペットボトルキャップの回収による「開発途上国の子どもたちへのワクチン支援」を社会貢献活動として本年度も継続して実施した。今までに2t 1,000人分以上のワクチン寄付実績を残している。					
(6) 収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	文化事業収入	2,171千円	(1,704千円)	人件費	176,375千円	(167,499千円)
	その他収入(コピー機収入)	251千円	(245千円)	物件費(施設管理・運営費)	159,830千円	(158,791千円)
	指定管理料	340,260千円	(320,500千円)	事業費	1,979千円	(1,716千円)
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	▶10/1より10/31にかけて外部委託調査会社により利用者アンケート調査を実施した。 ≪一部抜粋≫ ・Wi-Fiの利用を全部屋可能にしてもらいたい⇒令和8年度、早期にWi-Fi環境整備に着手する予定 ・主催事業の申し込みに電話が繋がらない⇒電話3回線の対応に限りがあるため、Web予約対応に切替える ・共用部の給水ノズルが使いづらい⇒衛生面を考慮に入れたノズルの長いものと、フラット型に戻したものの2通りを設置					
(8) その他	利用率向上に伴い、利用者から施設予約が取りづらいとする指摘が増加している。多くの利用団体が、公平に利用できるよう改善を図り対応にあたりたい。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
主催事業への取組み	今年度は38事業92回の主催事業を展開した。比較的年齢層が高い利用者が多い中、若い世代への集客増を目的として事業の企画開発に努めた。館内各施設や近隣施設の協力をいただき、特色ある事業を展開することで、多くの市民の皆様より暖かいご意見・ご感想をいただいた。
職員教育への取組み	業務に従事する職員に向け「安全で健康に働ける職場づくり」をテーマに研修会を実施した。内容は①心と体の健康 ②安全衛生活動 ③姿勢改善ストレッチの3項目をテーマとして、それぞれの専門講師による講義を受講した。職員に対しては、利用者へのサービス向上に繋がるものとして、こうした研修機会を設けたことにより、大変、有意義なものとなった。
電気料金縮減への取組み	節電推進委員会が中心となり、年間電気量の削減目標設定及び継続した効率的運用の推進を図った。実施項目として空調温度管理の徹底、夏場の温便座停止、館内照明の間引き、夜間空調停止他等、市民への影響がない範囲で実施した。 ※電気使用量 前年度比100.2% 電気使用料金 前年度比98.2%
利用率向上への取組み	Wi-Fi環境の整備については、全18部屋中6部屋を開通済みとしているが、令和8年度に残り12部屋を開通予定として計画を組み立てた。その他、宣伝活動を重視し、新たに地元自治会回覧板・掲示板を活用した販促を行った。また、一部主催事業に関しては、Web予約の拡大を図り、一層の効率化を図った。 ※利用率81.6% 前年度対比+0.4%

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

ア)施設運営・・・外部委託調査会社による令和7年度利用者満足度調査では、総合満足度98.0%(前年度比△0.1%)と継続して高い評価を市民の皆様よりいただいた。一部、利用手続きに対するご指摘も散見されたが、「施設・設備」「職員」「衛生環境」面に対する高評価が顕著であった。各種会議体を通して、改善を図った成果が残せた。 イ)施設維持管理・・・猛暑の影響でエアコン機器関連を中心として、突発的な故障が多発した。保守点検業務は計画スケジュールに基づき実施してはいたが、主に経年劣化による故障が原因の元となった。敏速に修繕を行うことにより、利用客には大きな影響を及ぼすことはなかったが、中長期的な観点から修繕を施していく方針としたい。 ウ)経費管理・・・過去、エネルギー価格の高騰に伴い、大きくは契約電力会社を変える等の光熱水費縮減対策を実施したが、今年度も引き続き電力関係の縮減を中心として、サウスピア各施設に協力を要請し経費縮減に努力した。また、事務経費、広報活動の省コスト化における内部文書の両面印刷・裏紙使用及び主催事業に伴うポスター・チラシ類を外部業者に依存せず自主製作することにより経費縮減を実践した。
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 (B) ※A～D 1 項目別の評価 ①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、利用者数・稼働率ともに向上し、満足度も高水準を維持しており、サービス向上と利用促進が図られている。一方で予約の取りづらさへの対応が今後の課題である。 ②経費の削減については、電気料金の削減や広報物の内製化などの取組により、継続的な経費縮減が図られている。 ③適正な管理運営の確保については、保守点検や安全管理が計画的に実施され、概ね適正に施設運営が行われている。 2 総合評価 利用回復と高い満足度を維持しつつ、経費削減や適正な管理運営も概ね良好に実施されている。事業計画に沿って適正に施設運営が行われ、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。
--

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、施設運営の効率化と利用者の利便性向上のため、予約手続や情報発信におけるデジタル化を一層推進し、設備の老朽化対策や予約の公平性確保に向けて改善を図るよう指導していく。
--